

ページ	質問事項	質問議員
12	消防団員確保に汗をかいてほしいが	森元 茂
13	こどもを守る町としての施策の展開は	岡本 篤
13	住民監査請求報告の指摘に教育委員会の考えは	山本 清悟
14	武力から住民を守れ	佐々木雅彦
14	認知症対策のために条例制定を	内海富久子
15	地域経渉ポイント事業の参加者は	奥野 弘佳
15	ミサイル保管の大型火薬庫建設撤回を	坪井 久行
16	インクルーシブ公園の導入を	大野 翠
16	マイナ保険証実施の取り扱いは	松田 孝枝
17	防災食育センター前の安全対策は	村田 周子
17	避難行動要支援者の個別避難計画策定の進捗は	岡田 三郎
18	参加業者を前もって決められないのか	青木 敏
18	交通不便地での高齢者対策は	森田 喜久
19	産業振興課から新たに「農政課」を発足させた意義は	竹川 増晴
19	南稲小泓の盛土撤去をどう捉えるか	山下 芳一

一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの施策を問うものです。

一般質問

今どこから
どこが聞きたい

- 内容は本人から提出された要約です。
- 質問者順に掲載しています。
- は、本文以外の質問事項です。



パパも公園デビュー



Q こどもを守る町としての施策の展開は

A 全ての子どもたちが希望を持ち、夢がかなう町づくりを進めていく

Q これまで以上の子ども・子育て支援策のための財源の工面は、国の中政策動向を見極め、補助金などの特定財源の確保に努める。子ども・子育て支援のために健康増進運動を行い、自分自身が健くなり、社会保障経費は今後の課題である。一人一人の行動変容によって変わることを数値化するの抑制につながり、その財源を子ども・子育て支援に回す考えは、公園を活用した子ども・子育て支援は。

Q 将来的にはものづくり体験などができる施設も、立地企業の協力を得ながら科学のまちの子どもたちプロジェクトを通して子どもたちの体験の場を引き続

Q 住民監査請求報告の指摘に教育委員会の考えは

A 監査委員の判断をどうこう言う立場ではない



PTAに関して
町に住民監査請求

① PTAの入退会が自由である会則の見直しは②新入生に対する加入説明は③会費の徴収と保管方法は。
①会則を一部変更が4校②会長や教頭などが行い、任意加入の説明がない学校もある③会長名や校長名で学校金庫で保管管理。④教職員が加入のPTAが、法令順守していない時の指導は。
①教職員の法令順守に反する行動は、任免権者の府教育委員会と協議し対応する。

Q 住民監査請求で①物の購入をPTA会費から支出②負担すべき学校行事の必要経費をPTAに転嫁③教職員の会費を給料天引きなどの法令違反を指摘された。監査報告は主張する行為が事実であるとはいえず、監査請求に該当しないと却下。この指摘を教育委員会はどう考えるのか。
A 委員の判断をどうこう言つ立場ではない。



Q 消防団員確保に汗をかいてほしいが

A より一層發揮できるように調整を図り取り組む



消防団員募集中

総務省HPより



もりもと しげる
議員

Q 281名の団員定数は現在236名と4名の減少である。13各部と女性部の詳細は。
A 第1分団第一部20名、第2部14名、第3部16名、第4部16名。第2分団第一部20名、第4部20名、第5部19名。第3分団第一部14名、第2部17名、第3部18名、第4部20名。女性部6名であるが、部活動に支障をきたすと考えるので募集対策に力を。

A 団員数が減少していることについての危機感を認識している。役割を越えた中での取組も必要と考える。消防本部の役割を一層發揮できるよう調整を図りながら取り組んでいきたい。



Q 地域経済 ポイント事業の参加者は

A 町内事業者100店舗が参加

A 参加事業者への初期投資の支援は、町内事業者が対象事業者参加基準は

A 初期投資なしの方法もあるが、事業者成長支援事業で機器購入の事業者負担を支援。

Q 事業の目的は。

A 地域経済の活性化と事業者支援、住民生活の負担軽減である。

Q 消費者の傾向は。

A 20～70代で偏りのいとなく利用。

Q 事業者や消費者の評価は。

A 事業者87%消費者85%満足。25%・4%が、やや不満・不満。

A 内容は。
Q もっとやつてほしい。決済手数料を無料にしてほしい。

A 数料の負担軽減は。
Q 考えておりません。

A **建設発生土処分**

Q 公社の処分場に搬出できない建設残土は、
A 近隣民間処分場にて適切に処分。

Q 建設発生土の菅井・植田整理事業へ受入
A ZEXCO西日本から受入れ、本町内の公共工事からの受入れは考えていない。



Q ミサイル保管の 大型火薬庫建設撤回を

A 現時点では決定していない



陸上自衛隊祝園弾薬支処



Q 武力から住民を守れ

A 施設整備や支援の予定はない

【Q】自衛隊基地が強勒化されるが、周辺住民を化学・生物・核兵器から守る施設の整備を、施設整備や支援策は、予定していない。

【Q】地元への説明を求めるべきだ。

【A】調査結果が出てからのことだ。

公共交通の整備は急務

【Q】学生が、交通弱者なり、通学時間帯の運行を行を。

【A】今後、検討する。

【Q】デマンドと奈良交通と乗換制度が必要だ。駅以外は困難だ。

利用者にやさしい交通

【Q】デマンド交通の①

乗降ポイントを増やす
②運賃は安く③手押し車やベビーカー利用者もいて、ノンステップ車両で④隣りの町外駅への運行を。

A ①増やすない②現行では難しい③運転手による介助はしない④考えない。

祝園駅にエレベーターを

Q ①JR祝園駅にエレベータの設置を。当面身障用通路の開放を。

A ①JRが、設置計画を延期した。

Q 自動運転システムや空飛ぶクルマに対応する計画を。

A 今は、考えない。



ノンステップで狭いところにも入れる車種

Q ミサイル保管の 大型火薬庫建設撤回を

A 現時点では決定していない



 認知症対策のために条例制定を

A 現時点では考えない、国の認知症基本法制定の動向を注視する



認知症老人のボルダリング

Q 全国的には2年後
に高齢者の5人に1人
が認知症と推計される
尊厳を持ち、安心して
暮らせるには、更なる
住民意識の醸成や認知
症施策に取り組む条例
が必要だ。

A 正しい知識の普及
活動、通いの場、居場
所づくりなど住民や関
係機関、団体等の連携
共生と予防に沿った施
策に取り組んでいく。
条例制定の考えはない

健康マージャン教室
「賭けない・飲ま
ない・吸わない」ルー
ルで、指先を動かすこ
とで脳が活性化し認知

A 症予防効果がある。
A 多様なメニューの一つに導入を検討する。
Q 個人損害賠償責任保険
Q 認知症家族への支援策であり、運用は。
A 4月から実施。S
OSネットワーク登録者が対象で保険料は町負担であり、補償額上限は1億円。5月末20人申し込みがある。
SOSネットワーク
Q 模擬訓練の効果は
A 3月に舟地区で実施した。今年度、ネットワークを活用して行方不明の情報発信をした結果、無事に発見された例もある。

たけがわ ますお
竹川増晴議員

Q 産業振興課から新たに「農政課」を発足させた意義は

A 円滑な業務執行と責任範囲の明確化をはかるため

Q 学校給食の無償化実現へ
A 政治決断で実現できる。予算の約1%であり、多大な費用が必要であることから、町独自

Q 新たにできた農政課として取り組もうとしていることは。
A 農業者の高齢化や面積の減少、荒廃農地の増加といった問題、後継者不足による作付面積の減少、荒廃農地の影響を受ける農業者に対する施策を遅滞なく展開することなどに取り組む。



水が張られすくすくと伸びる稻と田園里山

あおき さとし
青木 敏議員

Q 参加業者を前もって決められないのか

A 選定条件を設定することはできる

Q 隨意契約は制限なく自由に契約できる。
A 原則2者以上からの見積書徴取規定がある。合理的な理由で競争性や公平性を確保できるなど、過去の実績を考慮して参加業者を前もって数社に決められないのか。

一助となる「児童・生徒総合保障制度」
(京都府PTA協議会HPから抜粋)

Q 南稲小泓の盛土撤去をどう捉えるか

A 住民の皆様の不安感を推察し、払拭したい



盛土撤去！何があった！大丈夫か！

やました よしかず
山下芳一議員

Q 交通不便地での高齢者対策は

A 各集会所を乗降ポイントにして解消を図る



自宅周辺から目的地まで

Q 交通不便地の実態とデマンドバスの運行要領は。
A 交通不便地とは、500m範囲内に鉄道駅・バス停がない地域と位置づけて、北ルートでのデマンドバスを運行することで交通不便地の解消を見込む。南部ルートへ導入予定は。

Q 高齢化が進む中で、収集場所までゴミ出しの在り方は。
A 今後も高齢化が進行するため、「ゴミ出し」を行うため、「ゴミ出し」支援をすることになる。福祉分野での生活支援サービスなどの現状をつかみ、高齢者の声も聞きつつ先進地の情報収集を行い、今後検証していく。

ゴミの出し方の検討

もりた よしひさ
森田喜久議員

議会だより 177号より
(R 4.8.1発行)



その後を追う

どこまで進んだの!?

全国総合第19位、町村の中では第4位

～議会改革度調査2022～

早稲田大学マニフェスト研究所が全ての都道府県及び市区町村の議会を対象に実施、1,416議会が回答し、「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の3つの分野の評価点数を足し合わせてランキング化されたものです。

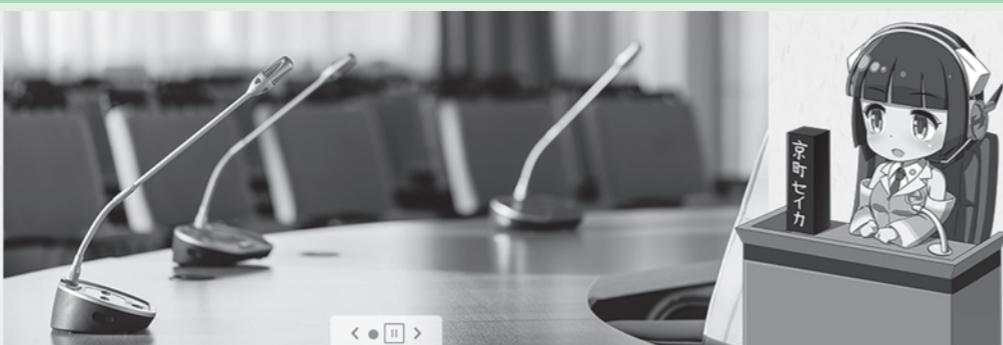
今回、精華町議会は全国総合第19位、町村の中では第4位、近畿エリアでは第7位、京都府内では第3位でした。

議会機能強化（議会本来の権限・能力を發揮するための機能強化状況）の分野別ランキングでは、全国第12位の評価を受けました。引き続き、議会改革を議会一体となって積極的に進めていきます。

お知らせ

■次回、令和5年度定例会9月会議は、令和5年9月1日(金)からはじまります。

9月会議に、請願書の提出をされる方は8月24日(木)午後5時までに、陳情書の提出をされる方は8月18日(金)午後5時までに精華町議会事務局(町役場6階)へ提出してください。



あなたも議会を傍聴しませんか。インターネット中継をご覧ください。

◆日程については議会事務局へお問い合わせください。TEL:95-1908 FAX:95-3972 E-mail:gikai@town.seika.lg.jp



議会だより・会議録が「精華町議会」ホームページより検索できます。

<http://www.town.seika.kyoto.jp/gikai/>

●目の不自由な方のため、朗読ボランティア「ひびき」の皆さんのが本誌を朗読したテープを、精華町社会福祉協議会事務局(TEL.94-4573)と町立図書館で貸し出しています。

菅井・植田土地区画整理事業の進捗は

その時の答 まずは、組合設立を目指す

その後現在は …… 昨年11月9日に、同事業組合設立準備会から組合設立認可申請が提出され、それを受け、本年1月24日に京都府からその認可公告が出されました。

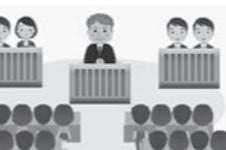


その後、2月19日に組合設立総会が開催され、本事業の主体となる、区域の地権者による事業組合が発足されました。現在は、全体工事に先立って必要となる埋蔵文化財調査や、工事区域の仮囲い・仮設道路設営などの準備工事を進めておられるところです。
(都市整備課)

18歳は成人、主権者教育の充実を

その時の答 総合的学習の展開を前向きに研究する

その後現在は …… 本町の学校における主権者教育は、地域の課題を社会の構成員の一人として主体的に解決しようとする態度や能力を育成するため、教科の中で自治体や国の取り組みや運営の基本原理になる法やきまりについて学んでいます。



また、児童会活動や生徒会活動などを通して、異なる意見を調整したり、学習・生活環境を変える活動を行い、社会参加の基礎的資質を身に付けるように取り組んでいます。ある町立学校では、町議会を傍聴したり、町役場に政策提言をする活動を行うなど具体的な政策実現の過程を学ぶ取り組みを行っています。
(教育支援室)

危機管理体制は充分なのか

その時の答 国の防災政策上の要請に基づいている

その後現在は …… 危機管理部門の強化として、新たに36番目の自主防災組織が結成されることにより地域防災力の強化につながりました。

今年度においては、国費により支援する「自主防災組織等活性化推進事業」の取り組みとして、地域の防災訓練及び資器材整備を実施します。

また、福祉部局との連携により個別避難計画の策定を行いました。さらに今年度は国の個別避難計画モデル事業（加速化促進事業）の採択を受け、災害リスクの高い地域に居住する医療依存度の高い（難病、小児特定慢性疾患等）方を対象に、個別避難計画の策定を進めます。
(危機管理室)

街をつくる人 98

精華女性の会

精華女性の会の活動

精華女性の会は、“自分づくり” “仲間づくり” “街づくり” をスローガンに活動する女性団体です。5つの支部と個人会員を含めて、100人の会員で活動しています。サークルとして＜コーラス・コール精華＞があります。

精華女性の会は全国地域婦人会、京都府連合婦人会、相楽連合婦人会に加盟しています。



管外研修
「水平社博物館」令和5年2月17日



第2回精華女性講座
「ハワイアンフラ」令和4年10月21日

★精華女性の会の活動 <女性講座>

精華町教育委員会と共にグローバルな生涯学習社会を形成していくことを目的に、男女の共同参画が可能な環境づくりと地域の女性指導者として資質の向上を図るためのものです。

- (1) 女性講座を企画、立案し、計画書を作成する。
- (2) 女性講座を開催、運営する。
- (3) 女性講座の成果について実績報告書を作成する。

◎今年の女性講座

- 第1回 8月28日(月)** 13時30分～15時
「精華町の文化財や遺跡についての講演」
講師：精華町教育委員会生涯学習課 中川博勝氏
場所：精華町役場2階 交流ホール
- 第2回 9月20日(水)**
「クボタ サンベジファーム施設見学」
精華町役場 午前8時30分集合 出発
- 第3回 令和6年1月頃**
「和太鼓と体験」(詳しくは後日)
- 第4回 令和6年2月頃**
「和菓子作り講習会」(詳しくは後日)
講師：御生菓子司ふたば 越田耕平氏

<心持ち運動>

タオル・シーツ・古布・石けん・洗剤を会員より集めて、神の園、相楽作業所、社会福祉協議会にお届けしています。

<配食サービス>

年2回、高齢者のお弁当づくりをしています。



配食サービス

<コーラス・コール精華>

毎週土曜日 10時～12時
むくのきセンター音楽室にて練習しています。

<クリーンリサイクル>

日時：令和5年8月19日(土)
午前9時～午前11時
場所：木津川河川敷(開橋周辺)



クリーンリサイクル in 木津川河川敷

<相楽連合婦人会>

令和5年9月4日(月)
「高野山巡り」

<管外研修>

令和6年2月15日(木)
(研修場所未定)

会員募集中

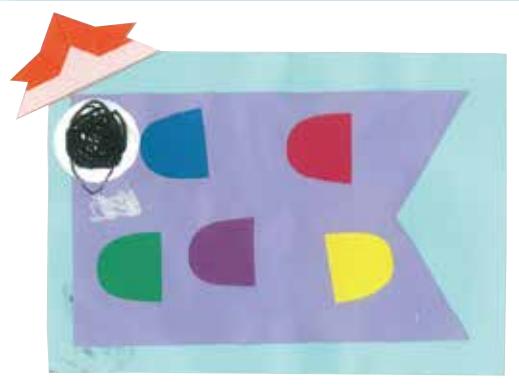
精華女性の会&コール精華の活動に参加して、お友だちを見つけませんか？
ご連絡をお待ちしております。

精華女性の会会長 白畠丈子
TEL 0774-94-2617

ギャラリー
Gallery Hana

華

星の光幼稚園
園児の作品



「こいのぼり」



「せんせいのかお」



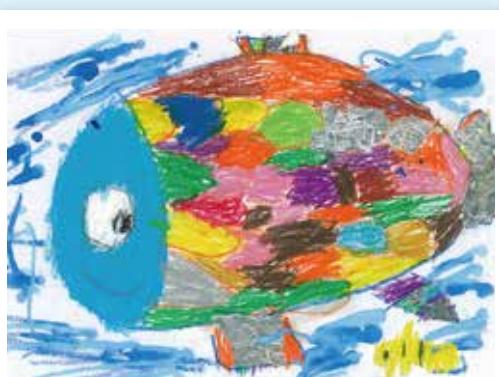
「ぞう」



「はらぺこあおむし」



「チューリップ」



「にじいろのさかな」

編 集
後 記

厳しい暑さが続いています。町議会では、5月に構成替えが行われ、今回の議会だよりは新しい広聴広報常任委員作り上げました。

7月28日には議会まちカフェが開催され、皆様からの多様なご意見は、担当の委員会で検討していきます。検討結果については次号以降、随時お伝えする予定です。

今後もより充実した広報広聴活動に努めていきます。



大野委員長 竹川副委員長